



ほんものを たべよう

Alter Weekly Order Catalogue

2017. 1月4週号

提出日	1/ 17	火	水	木	金	20
配達日	1/ 24	火	水	木	金	27
翌々週分配達日	1/ 31	火	2/ 1	水	木	2 3

オルターの提案

- 本当に安全な食べものを手渡すために
- 「だれが・どこで・どのようにつくったか」の情報を日本一公開します。
 - 「国産」「無農薬」にこだわり、日本の伝統食を守ります。
 - 原料段階・飼育段階からポストハーベスト農薬、遺伝子組み換え、放射能汚染、トランス脂肪酸、食品添加物などを徹底的に追放します。
 - プラスチック容器・レトルト食品を追放します。

菊芋茶

食後の血糖値上昇抑制に 有機菊芋茶

天然のインシュリンといわれるイヌリンが豊富。

アグリシステム(株)

文責 西川 榮郎(NPO 安全な食べ物のネットワーク オルター 代表)



伊藤 英信社長(前列左から3番目)、伊藤 英拓専務(前列左から2番目)

低コスト・高品質・ 環境保全型農業を推進

北海道芽室町に本社のあるアグリシステム(株)伊藤英信社長は、「生きた土→健全な作物・人間の健康」を理念に、「低コスト・高品質・環境保全型農業」、とくに「バイオダイナミック農法」を推進し、有機栽培(有機JAS認定あり)など(慣行栽培の取り扱いもあり)の、豆類(小豆、大豆、金時、黒豆)、小麦、小麦粉、ジャガイモなどの農作物を、農協を介さず北海道で約500軒の生産者(うち有機栽培は10数軒)と直接契約栽培し、集荷→選別→保管→加工→流通までを一貫して行っています。

とくに豆類の保管においては、帯広畜産大学の中野益男名誉教授の指導を得て、優れた品種保持を実現しています。毎日農家を回るフィールドマンシステムで、土作りによってできるだけ農薬や化学肥料に頼らない営農指導を行っています。

自社農場でバイオダイナミック農法

北海道最大規模のオーガニック農場(有機JAS認定圃場)である自社農場「バイオダイナミックファーム トカプチ・カミフラノイ」(耕作面積十勝100ヘクタール、上富良野20ヘクタール)では、バイオダイナミック農法でライ麦、菊芋、小麦、大豆、長いも、ゴボウ、赤ピーズ、ルバーブ、さらにハウスでは在来種を中心に30種類以上の野菜を育てています。

一般的な有機栽培では使用されることのあるボル

ドーなどの認定有機資材も一切使わず、完全な無農薬・無化学肥料栽培を行なっています。

人に安全な古代小麦復活にチャレンジ

本年は9000年以上前に栽培されていた古代小麦、スペルト小麦の栽培にもチャレンジしています。

スペルト小麦は品種改良された小麦、遺伝子組み換えの小麦に比べ、圧倒的に栄養価が高く、小麦本来の味や香りがよいのが特徴です。また、普通小麦よりも分子がとて小く腸壁を傷つけないため、アレルギーが起こりにくいとも言われています。近年問題となっている、人の脳などにダメージを与える小麦グルテンの問題も少ないと考えられています。

北海道最大級の有機農場

伊藤さんは28年前まで北海道の農協組織「ホクレン」で働いていました。そのホクレンを退社して有機農業に取り組み、現在、北海道最大級の有機農場となりました。

オルターとしては、アグリシステムの取扱い品目のうち、「バイオダイナミックファーム トカプチ・カミフラノイ」の有機農産品を中心に取扱っていきます。準備ができ次第、順次カタログなどでご紹介していく予定です。

糖尿病の特効薬

今回ご紹介する品目は、有機菊芋茶です。キクイモは十勝平野更別町にある「バイオダイナミック農場トカプチ」で有機栽培しています。キクイモが「糖尿病に効く」という評判を知り、国民病である糖尿病対策になれば、と栽培し始めました。収穫したキクイモを、たまたま糖尿病で透析していた社員に渡したところ、医者がびっくりするくらい回復したそうです。

キクイモには天然のインシュリン(インスリン)といわれるイヌリン(生のキクイモに13~20%のイヌリンが含まれています)が豊富に含まれています。そのため、食後の血糖値上昇を抑制する効果が知られており、実際に糖尿病が改善したという報告がたくさん知られています。

キクイモはデンプンを蓄えず、水溶性の食物繊維イヌリンを含んでいます。イヌリンは消化されず大腸まで届き、ビフィズス菌などの善玉有用菌類の栄養源ともなって、大腸内の菌叢の良好なバランスを取り、健康の増進維持にも役立ちます。

キクイモは生活習慣病対策に役立つ、スーパーフードです。そのキクイモを乾燥させ、菊芋茶にしています。たいへんおいしい、幸せな味のお茶です。糖質制限を行っている人におすすめです。食事中に飲むのがより効果的です。

おすすめの食べ方として、「そのまま食べる」「コップのお茶にそのまま入れて具も食べる」「グラノーラとして」「サラダのトッピングとして」。お通じも良くなります。

アグリシステムの 有機菊芋茶

●栽培地

自社農園 「バイオダイナミック農場 トカプチ」(北海道更別町)

●防除

一切の農薬を使用していません。除草は機械除草。

●製造工程

- 1 キクイモ原料搬入、アルミ製袋に入れる
- 2 冷蔵保管
- 3 アルミ袋開封、ポリ容器に詰替え、金属探知検査
- 4 包装

●肥料 自社農園でこれまで使われてきた肥料

バイオダイナミック(BD)調剤
 マリアタウン樽堆肥(牛の角に牛糞を詰めたもの)
 牛の角に水晶の粉末を詰めたもの
 自家製堆肥…想いやりファームの輸入穀物・
 抗生物質不使用牛糞(オルターカタログ
 2009年11月2週号参照)、
 自家製麦稈、雑草、自社選別くず(豆、小麦など)
 焼成鶏糞、鶏糞ペレット
 エバーアミノ(発酵ペレット肥料)
 自園豆くず、小麦くず、米糠

化石サンゴ資材 沖縄、与那国島産
 コーラルリンサン インドネシア産
 貝化石
 粗殻燻炭
 土壌耕盤液 光合成細菌、酵母液
 ΣM活性液
 ΣMセラミック

化学肥料の使用なし。今年のキクイモは有機肥料の使用もなし。